

## ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」

# GW中のコロナ感染防止に最も努めたのは、自宅滞在率約78%の「北海道」 Zenly 都道府県別「自宅滞在率」ランキング発表

世界国別比較 平均値トップは「ニュージーランド」日本も世界平均を上回る結果

Zenly社（本社：フランス、パリ）は、リアルタイムの地図で友達や家族と楽しめるコミュニケーションアプリ「Zenly」における「自宅滞在チャレンジ」のデータを応用した、各都道府県や国別の「自宅滞在率」を発表します。

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、Zenlyではアプリを通じてユーザーのみなさまが外出自粛期間を少しでも大切な人とのつながりを感じながら明るく過ごせるよう、「コロナウイルス・レンズ」や「自宅滞在チャレンジ」などの新機能を追加してきました。特に「自宅滞在チャレンジ」は、どれだけ長く自宅で過ごしたかを友達とゲーム感覚で競うことで、外出を控えることに逆に誇りを感じられる機能となっており、世界中のZenlyユーザー同士の自宅滞在率ランキングと共に、国別の順位も毎日公開してきました。

今回は日本で緊急事態宣言が発令された前後の国内の自宅滞在率の推移や国別のランキング、さらに、ゴールデンウィーク期間中における日本の都道府県別の自宅滞在率ランキングTOP5について、Zenlyユーザーの自宅滞在率をもとに調査を行いました。

### TOPICS

#### ① 都道府県別「自宅滞在率ランキング」TOP 5

ゴールデンウィーク期間中の自宅滞在率トップは「北海道」。感染第2波を経験したことで、他都市よりも意識の高さがうかがえました。東京は北海道と10%以上の差がつく結果に。

#### ② 世界国別「自宅滞在率」比較

日本、中国、アメリカ、フランス、ニュージーランドの5か国について、2020年3月1日から5月17日までの期間における自宅滞在率をもとに比較。期間中の平均が最も高いのはニュージーランドで、日本も海外ほどの罰則がないなか、全世界平均を上回る結果となりました。

#### ➤ 都道府県別「自宅滞在率ランキング」TOP 5

Zenlyでは、全国47都道府県の中から、人口の多い上位9都市を対象にゴールデンウィーク（2020年5月4日～5月10日）期間の都道府県別「自宅滞在率ランキング」を調査しました。

1位となったのは、2月中旬ごろから感染が広まり、2月下旬に独自に緊急事態宣言を発令した北海道です。一度は感染拡大が収まったとみられましたが、4月中旬には第2波を経験したこともあり、ゴールデンウィーク期間も他の地域に比べて人々の外出自粛に対する意識が高かったことが考えられます。

2位の愛知県は、4月7日に発令された国による緊急事態宣言適応地域に含まれてはいませんが、県内での感染者

「自宅滞在率ランキング」TOP 5		
1	北海道	78.61%
2	愛知県	76.72%
3	神奈川県	76.70%
4	福岡県	76.66%
5	大阪府	76.63%

 Zenly 調査期間：2020年5月4日～5月10日

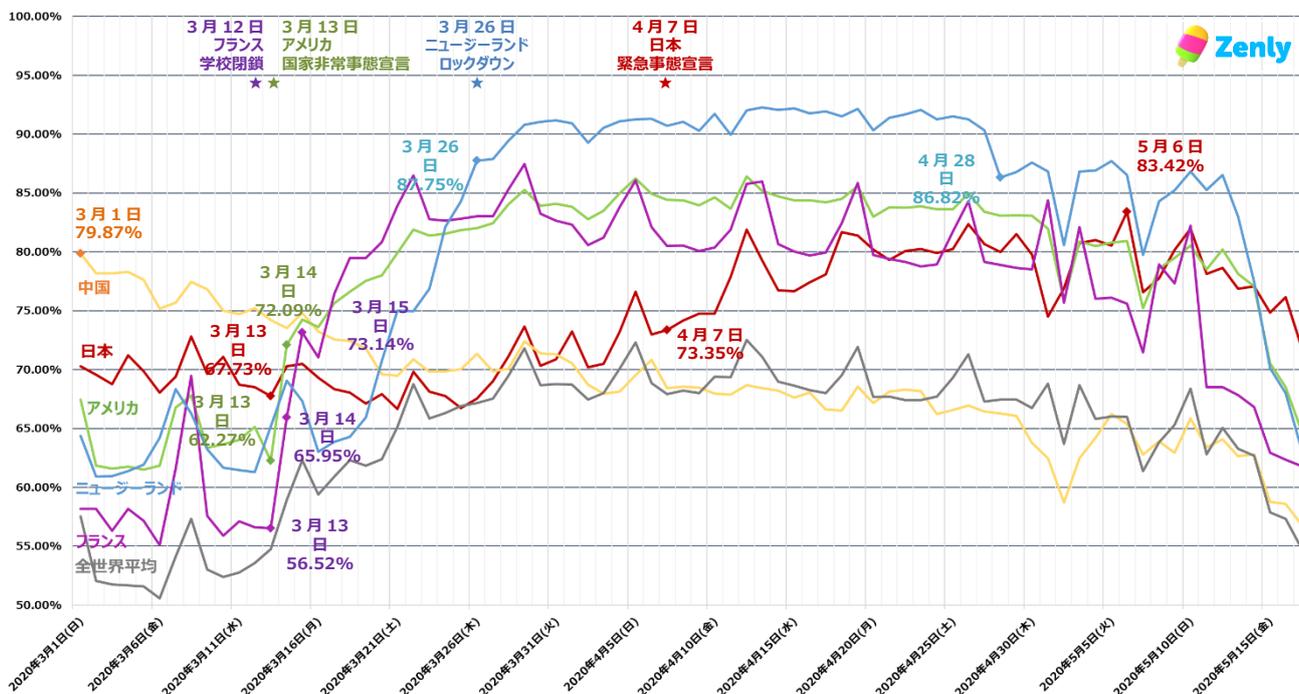
数が増加していることを受け、4月10日に独自の緊急事態宣言を発令し、人々に早くから外出自粛を訴えていました。ゴールデンウィーク期間中も、感染拡大防止に対する意識の高さが伺えます。

3位はゴールデンウィーク当初に県外から江ノ島などの海岸エリアに来た人による混在の発生がニュースになるなど、人々の外出が懸念されていた神奈川県です。しかし、実際のデータを見ると、神奈川県民は自宅に滞在し、外出を自粛していたことが明らかになりました。

トップ5はいずれも自宅滞在率が76%以上となっており、ゴールデンウィーク期間も、平均して1日のうち4分の3を自宅で過ごし、不要不急ではない外出は避けていた様子がうかがえます。一方、東京都は上位5都市と約10%の差がつく67%となりました。

### 世界国別「自宅滞在率」比較

日本、中国、アメリカ、フランス、ニュージーランドの5か国について、2020年3月1日から5月17日までの期間における自宅滞在率をもとに、比較を行いました※。



各国の期間中の自宅滞在率の平均値

	全日平均	平日平均	土日平均
日本	74.42%	73.95%	75.54%
中国	68.93%	69.17%	68.36%
アメリカ	78.25%	78.07%	78.67%
フランス	75.42%	74.51%	77.60%
ニュージーランド	81.10%	81.08%	81.17%
全世界平均	64.27%	63.70%	65.64%

まず日本では、志村けん氏の新型コロナウイルス感染が公表された3月13日から徐々に自宅滞在率が増加しています。著名人の感染というニュースにより感染症が身近な問題として捉えられ、人々の意識に変化をもたらしたと考えられます。他国と比べて大きく異なる点は、4月7日に発令された政府による緊急事態宣言発令前後の数値が大きく変化していないことです。日本では行動制限が外出による罰則を伴わなかったことに加え、緊急事態宣言発令前から政府が強く外出自粛を呼びかけており、もともと外出自粛に対する

Zenly 調査期間：2020年3月1日～5月17日

意識は高く、3月当初から自宅滞在率は70%前後と高い水準を位置していました。その後も自宅滞在率は上がり、緊急事態宣言当初の期限であったゴールデンウィークの最終日、5月6日には調査期間で最も高い83.42%という数値を記録しました。

中国は、1月～2月にかけて感染拡大のピークが訪れたと言われており、他の4か国に比べてピーク到達が早かったことから、本調査期間の3月1日の79.87%を境に、自宅滞在率は徐々に下がる傾向にあります。このデータより、3月以降は感染に注意しながらも外出をはじめ、経済を回復させるような動きにシフトしたと考えられます。

アメリカは、トランプ大統領により3月13日に国家非常事態宣言が発令されたことで、発令当日の自宅滞在率は62.27%だったのに対し、その翌日には72.09%を記録し、急激に数値の変化をもたらしたことがわかりました。その後も80%前後で推移しており、厳しい外出制限を設けたことで、人々の自宅滞在が促されたことがデータからも明らかになりました。

フランスでは、3月12日の大統領の演説で全ての学校が翌週から閉鎖されることが決まり、3月14日には飲食店が閉鎖されました。その結果、自宅滞在率は、3月13日が56.52%、3月14日には65.95%、そして3月15日には73.14%と、この3日間で15%以上も自宅滞在率が増加しています。また、他の国と比べると、土日の自宅滞在率が平日よりも3%近く上昇している点が特徴です。食料品の買い出しなども平日に行い、土日は自宅に滞在するといった流れができていたのかもしれません。

最後に、感染拡大を抑え込んだ成功例として注目されているニュージーランドです。2月28日に同国初の感染者が確認された時点で入国禁止国を拡大し、さらに3月19日には自国民や永住権保有者以外ほどの国からも入国を禁止するなど、スピーディーな決断を下したことが特徴的です。その結果、海岸や子どもの遊び場、オフィス、学校が閉鎖され、バーやレストランはテイクアウトや宅配も含めて営業禁止となった3月26日から、ロックダウンのレベルが引き下げられた4月28日までの約1ヶ月の間、自宅滞在率は約90%となり、他国に比べてもかなり高い水準を記録しました。

- ※ 2020年3月1日から5月17日までの期間における日本、中国、アメリカ、フランス、ニュージーランドの5か国のZenlyの自宅滞在率データをグラフ化したものです。
- ※ 全世界平均は、Zenly「自宅滞在率チャレンジ」の全181か国の平均によるものです。

## ■ Zenly の新型コロナウイルス対策への取り組みについて

ZenlyではWHOが推奨するソーシャルディスタンスを適切に保つべきという観点から、友達と一緒にいることを共通の友達へ知らせる「バンプ機能」を現在一時的に停止しています。さらに、「コロナウイルス・レンズ」や「自宅滞在チャレンジ」といった新機能を通じて、感染拡大を防止するための取り組みを進めております。

当社はこれからも、ユーザーのみなさまの安全を第一に考え、友人や家族とのつながりを感じながら、感染拡大防止に少しでも貢献できることを願っています。



## ■ 「コロナウイルス・レンズ」について

「コロナウイルス・レンズ」とは、Zenly のマップ上に全世界の新型コロナウイルス感染者数と回復者数が表示される機能です。新型コロナウイルスの急激な感染拡大に伴いさまざまな情報が飛び交うなかで、最新情報を一目で確認し、正しい理解を促すことを目的としています。

※ 詳細は以下プレスリリースをご確認ください。

[ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」  
全世界の新型コロナウイルス拡散状況が一目でわかる「コロナウイルス・レンズ」機能をリリース](#)



## ■ 「自宅滞在チャレンジ」について

自分とアプリ上でつながっているユーザーがどれだけの時間自宅に滞在していたのかが確認できる機能で、ユーザー間の自宅待機時間を反映したデータがランキング形式で表示します。また他の SNS 上に、この「自宅滞在チャレンジ」のランキング情報や、WHO（世界保健機関）が公開する感染予防対策方法を、シェアできる機能も同時に提供しています。

※ 詳細は以下プレスリリースをご確認ください。

[ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」ユーザー同士で自宅にいる時間の長さを競い合おう！「自宅滞在チャレンジ」機能を全世界同時リリース](#)



## ■ 「Zenly」とは？

友達や家族で楽しめるリアルタイムの地図アプリ。待ち合わせのために使ったり、みんなが何をしているかを確認できたりします。アプリを利用することで、たとえ離れていても一緒にいるように感じることができます。

- ・ 公式Webサイト : <https://zen.ly/>
- ・ iOS版アプリ : <https://apple.co/33m4U0t>
- ・ Android版アプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=app.zenly.locator&hl=ja>